

社会貢献活動（地域ボランティア活動）の実施報告

（一社）長野林業土木協会

活動内容	森林浴発祥の地、赤沢自然休養林において 遊歩道の整備や環境美化活動を実施
1 実施年月日 : 平成30年5月23日 2 実施場所 : 長野県木曾郡上松町 小川入国有林 3 参加会員数 : 木曾支部 13企業 27人 木曾森林管理署職員 2人 4 活動内容 :	森林浴発祥の地、赤沢自然休養林は1970年に全国で初めて自然休養林として開園し、面積は728haで300年から400年生の木曾桧を主体とする木曾五木等（ヒノキ、サワラ、ネズコ、ヒバ、コウヤマキ）が自生しています。 木曾の森林は、江戸時代初期からの厳しい森林保護政策（禁を破ったものは「木1本、首一つ」）により、明治時代には美しい桧林として回復した後は、御料林と伊勢神宮の神宮備林に指定され、更に戦後は国有林となり、この赤沢一帯は伐採を免れてきた地帯です。 現在の赤沢自然休養林は、片道1.1kmの森林鉄道が運行し、森林鉄道記念館（ボールドウイン製の蒸気機関車等を展示）、森林資料館、セラピー体験館、全長20.1kmの遊歩道等が整備され年間多くの観光客が訪れています。 木曾支部は、毎年、木曾森林管理署管内でボランティア活動を行っており、今年で10回目となります。 今年は赤沢自然休養林において、遊歩道の手摺や駐車場周りの木製柵への防腐剤塗布作業や役目を終えた旧木製遊歩道の撤去作業を行いました。 雨がばらつく中での作業でしたが、利用者の安全を考え丁寧に作業を行いました。
活動写真	
	
作業前のミーティング	



防腐剤塗布作業



旧木製遊歩道の撤去作業